



2013 自治労 Vol.15

つべつ

2013.2.21 (木)

発行:自治労津別町役場職員組合 教育宣伝部

明日 全国町村職総決起集会 / 佐藤佳奈さん頑張ってください

昨年到现在高率でスト批准

批准率 94.68% 2月18~20日の職場集会「スト批准投票」

組合員 A	投票総数 B	賛成者 C	反対者	白紙	無効	投票率 B/A	賛成率 C/B	批准率 C/A
94	94	89	2	3	0	100.0	94.68	94.68

支会長会の梶原会長の立会いのもと、投票用紙を確認しました。

投票の結果は、昨年に引き続き、高い批准率となりました。職場集会に参加できなかった方には、個別に投票をしていただき、今年

も全組合員 100%の投票となりました。皆さんのご協力とご賛同に厚く感謝します。

自治労本部は、全国の投票結果を集計し、今月開く「拡大闘争委員会」でスト権確立の判断をします。

地方の財政自主権を侵す

全国市長会が「緊急アピール」

全国市長会は20日、会議を開き、政府の地公給与削減要請に対し「地方分権の流れに反し、地方の財政自主権を侵すものであり、誠に遺憾」とする緊急アピールをまとめました。

緊急アピールは、政府が削減要請の根拠とするラスパイレス指数について「市町村が行ってきた総人件費の削減、人員削減の努力がまったく反映されていない」と指摘し、その

上で、国と地方の公務員の給与・職員定数の在り方に関し「国と地方の協議の場」で早急に議論するよう求めています。

森会長（長岡市長）は「国の対応に納得がいかないという意見が大半だった」と説明し、政府の地公給与削減要請を受けて各市が実際に削減するかどうかは個別判断に委ね、市長会として各市に要請はしないとしています。

※ 裏面に「緊急アピール」を掲載

津別町職は「あいはらくみこ」さんを推薦決定しています。

参議院議員

あいはらくみこ

自治労の代表を通じて政策実現を！

公共サービスの再生と組合員・関連労働者の生活改善を実現するためには、自治労を代表する国会議員が必要です。私たちの要求する諸政策ため「あいはらくみこ」さんの活動を支援していきましょう。



全国市長会の緊急アピール

《国による地方交付税削減・地方公務員給与削減要請について》

- 1 地方公務員の給与は、公平・中立な知見を踏まえ、住民や議会の意思に基づき各自治体が自主的に決定すべきものであり、ましてや、地方の固有の財源である地方交付税を地方公務員の給与削減のために用いることは、地方分権の流れに反し、地方の財政自主権を侵すものであり、誠に遺憾である。
- 2 現下のデフレ基調のなか、厳しい地域経済を回復基調に乗せるためにも地方公務員の給与削減は、極めて問題である。経済界に対し民間給与の引き上げを要請している政府の立場とも矛盾すると言わざるを得ない。
- 3 今回公表されたラスパイレス指数は、臨時的に削減された国家公務員給与との比較によるものであり、これまで国を上回って市町村が行ってきた10年間で1.6兆円の総人件費の削減、13万人の人員削減の行革努力がまったく反映されていないことを再三指摘してきたところである。
- 4 今後、ラスパイレス指数を含め、国・地方を通じる中長期の公務員の給与定数のあり方について、早急に、「国と地方の協議の場」での議論を開始すべきであり、実効ある運営を図るために分科会を積極的に活用すべきである。

平成25年2月20日

全国市長会

「緊急アピール」とともに示された資料では次のようにラスパイレス指数を問題にしています。

＜ラスパイレス指数の限界＞

- ① 全国家公務員の7割以上が地域手当を受給しており、霞ヶ関では、地方よりも高い18%の地域手当が支給されているが、ラスパイレス指数算定には反映されていない。一方、地域手当のある市町村は、1,742団体内中約2割の390団体（305市区、85町村）にすぎない。
- ② 国は局長などの指定職を除いて算定している。一方、地方は部長級まで含めて比較している。
- ③ 基準団体である国と比較団体との職員構成の相似の程度、比較団体の職員数の多少等によって、その反映の正確さの度合いは異なるものと考えられるが、国の職員構成を一律に用いて計算されている。

